

2013年6月5日

機関リポジトリを知る

東京歯科大学図書館

阿部 潤也

1. 機関リポジトリ概論

学術情報の電子化からオープンアクセス活動、機関リポジトリへの流れとともに世界、日本の機関リポジトリの現状と今後の方向性について述べる。

- ・学術情報の電子化
- ・オープンアクセス
- ・機関リポジトリとは？
- ・機関リポジトリのメリットとは？
- ・世界、日本のリポジトリ
- ・特徴的なサイト
- ・DRF の活動
- ・今後の方向性

2. システムについて

機関リポジトリ構築に必要なシステムと構築方法、現在採用されている主なシステムを紹介する。

- ・必要な機能
- ・構築方法
- ・主なシステム

3. メタデータについて

機関リポジトリにおけるメタデータの役割と、その使われ方について述べる。

- ・OAI-PMH
- ・メタデータ
- ・データプロバイダ

4.著作権について

機関リポジリにまつわる著作権と著者版原稿、著作権確認サイトを紹介する。

- ・リポジリでの著作権
- ・一般的な例
- ・著者版とは
- ・著作権確認サイト
- ・著作権、その他

5.コンテンツ収集について

機関リポジリに登録するためのコンテンツ収集の方法とその取り組みについて紹介する。

- ・コンテンツの種別
- ・データベースから
- ・話題から
- ・アピール

6.事例紹介

演者が運営に携わっている機関リポジリの現状について紹介する。

- ・これまでの経緯
- ・IRUCAA@TDC について
- ・特徴的な取り組み
- ・利用状況について

参考にしたサイトは以下のページにまとめていますので、ご覧ください。

<http://goo.gl/pjaf5>